



NME News

Nutritional Management Expert News

栄養経営士のための情報紙

2023
7月号

発行／一般社団法人
日本栄養経営実践協会
(JANMP)
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-20-5
S-GATE八丁堀9階
制作／株式会社日本医療企画

お問い合わせ先／一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 http://nutrition-management.jp

日本栄養経営実践協会 北陸支部 設立記念セミナー開催!

北陸から全国へ栄養の未来を発信

代表理事と支部長による対談が実現 栄養経営士への期待を語る

日本栄養経営実践協会北陸支部は、7月8日(土)に「日本栄養経営実践協会北陸支部設立記念セミナー」を開催した。現地会場およびオンラインで開催され、北陸地方の栄養経営士を中心に全国各地から参加。北陸地域での今後の栄養経営士の活躍を期待させるセミナーとなった。

自分の言葉で伝え医師とディスカッションを

北陸支部は昨年11月に第7番目の支部として発足し、コロナ禍があけてからの現地開催での設立記念セミナーとなった。

セミナーは、北陸支部支部長に就任した石井要氏(公立松任石川中央病院外科部長)による開会の挨拶から始まった。そのなかで石井支部長は「支部でこういった役割を果た



基調対談を行う石井要支部長(左)と宮澤靖代表理事

後には北陸支部の理事が登場し、一人ひとりが簡単な紹介を行った。続いて、メインプログラムのひとつである、宮澤代表理事と石井支部長の基調対談が行われた。「診療報酬改定が大きく変わる栄養士の役割、栄養経営士

していけばよいか、皆さんの意見をいただきたい」と支部長としての意気込みを語った。次に、宮澤靖代表理事(東京医科大学病院栄養管理科科长)が挨拶に立ち、支部設立のお礼を述べるとともに「北陸支部は石井先生を中心に活動を進め、全国大会などで発表を行い、ぜひ活躍してほしい」と話した。その後



一人ひとり挨拶をする北陸支部理事(1名不在)

の重要性」と題した対談では、最初に宮澤代表理事の略歴を辿りつつ、管理栄養士を取り巻く状況の変化と、現在置かれている立場や課題について語り合った。対談の後半では、管理栄養士の病棟常駐とコミュニケーションの問題、今後のNSTのあり方、給食管理と人材確保など、これからの病院における管理栄養士の役割や、国が期待する方向性について言及した。

から「医師としてどんな管理栄養士と働きたいか」と問われた石井支部長は「治療において食事・栄養は非常に大切。そこを安心して任せられる管理栄養士さんとは一緒に仕事をしても悩まない」と回答。また「管理栄養士は真面目で志が高い人たちであるのは、よく知っている。ハードルは高いかもしれないが、間違っていたらダメというわけではないから、ぜひ自分の意見を持って医師とコミュニケーションを取り、知識や情報を自分のなかに落とし込



自院の活動紹介をする米原恭子理事

んで、自分の言葉でアウトプットし、一緒にディスカッションをしていけば、そのなかで良いものが生まれてくると思う」と管理栄養士への期待を語り、対談を終えた。

さまざまな「力」を高め自分の可能性を増やす

後半は、北陸支部理事である米原恭子氏(医療法人財団五省会西能病院診療技術部栄養科)が「『元氣』を届けるプロ集団の一員として、栄養部門の今、そしてこれから」と題して発表を行った。

「『元氣』を届けるプロ集団たれ」という言葉が病院の行動指針として掲げられているという米原氏は、自院での人材マネジメント手法や管理栄養士としての業務、他職種との連携、病棟配置に向けた取り組み等を紹介、栄養科の問題点と今後に向けた予定について説明した。また、栄養ケアステーションの活動や法人で進めている運動器の未来を考えるイベントの開催等、多彩な活動を行っている

ことも紹介した。米原氏は「最近、個々の力を高めるということをよく考えている。知識や経験も大切だが、アセスメント力や想像力、コミュニケーション力などを高めることも選択肢を増やすことにつながり、活躍の場や収益を増やすことにつながるのではないかと語り、いろいろ「力」を身につける重要性を説き、発表を締めくくった。

プログラムの最後は田中弘美副支部長(北陸学院大学短期大学部准教授)が挨拶に立ち「北陸支部の活動として、支部長から医師目線での助言をもらいつつ、管理栄養士のスキルアップを目指したい」と話し、設立記念セミナーは終了した。今後北陸支部では、地域の栄養経営士・管理栄養士のスキルアップのため、セミナーや合同研究などさまざまな企画を予定している。北陸地域の栄養経営士はぜひ企画に参加し、自身のスキルアップはもちろん、地域の栄養活動の底上げにも尽力していただきたい。

「褥瘡管理で目指す！ 管理栄養士の病棟常駐」

日本栄養経営実践協会主催

1つの成功症例を足掛かりにして病棟で必要とされる管理栄養士になろう

7月12日(水)に協会本部主催、真壁昇理事が講師を務めるセミナー「褥瘡管理で目指す！管理栄養士の病棟常駐」が開催されました。平日夜の開催でしたが60名を超える申し込みがあり、褥瘡エキスパートに対する栄養面からのアプローチについて管理栄養士の関心の高さがうかがえました。

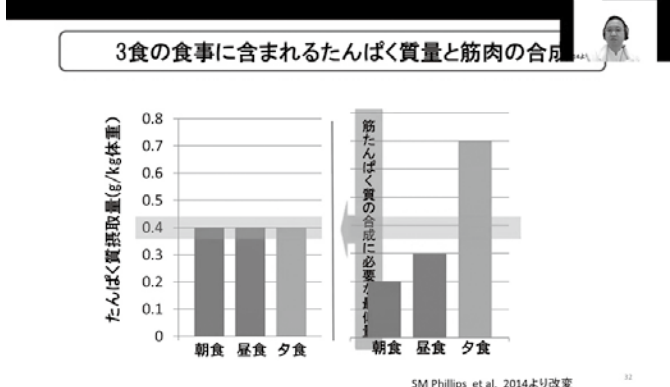
日和見絶食はやめ、できる限り絶食期間を短くしよう

セミナーの冒頭、褥瘡の事例を示しながら真壁理事は「褥瘡で注目して欲しいのは周囲の発赤で、この炎症を抑えないといくら栄養を入れても褥瘡は治癒しない。黒色壊死も大事だが、発赤のコントロールを行う栄養管理が重要になる」と褥瘡治療についての基本的な考え方を示しました。また、「2000年頃までは褥瘡は『終末期にできる死のサイ



参加者の質問に答える真壁昇理事

善さつせること」だと考えていると述べ、除脂肪体重が10%低下時には、創傷部の回復に経口由来のタンパク質を「優先利用」、20%低下時には除脂肪体重の回復と創傷治療に「均等利用」、そ



タンパク質は3食平均的に摂取することが望ましい

は食べられるようになるだろう、という希望的観測が一番危険」と訴えました。褥瘡の予防・治療のために必要なタンパク質量として、真壁理事は「タンパク質は常に合成と分解をくり返しており、血管内にタンパク質がある程度あることが重要」と話し、日本人のタンパク質摂取量は朝少なく夜多くなりがちですが、一定量をキープするような食事にすることを勧めました。目安としては1.0g/kg/日以上が必要で、ただし書きとして、タンパク質を増やすと影響が出る疾患・病態については別途考慮が必要であると説明しました。

以上低下すると除脂肪体重の回復に優先的に使用するため、創傷は悪化し創傷治療は除脂肪体重が回復するまで遅延すると説明。「栄養管理をしていて、急激に良くなったときは、除脂肪体重が改善して創傷の回復に向かうことと類似している」と指摘しました。次に2022年に発表された褥瘡のガイドラインの内容を紹介しつつ経腸栄養の重要性と絶食が与える影響に触れ、二日三日を無駄にしてはいけない。二三日の絶食でも影響は大きく、とくに後半で話すスキナーケアにとってダメージが大きい。体重減少まで起きなくても、皮膚状態が悪くなる」と説明。栄養不足の状態をできるだけ早く解決することが重要で「明日には食べられるようになるだろう」という希望的観測が一番危険」と訴えました。褥瘡の予防・治療のために必要なタンパク質量として、真壁理事は「タンパク質は常に合成と分解をくり返しており、血管内にタンパク質がある程度あることが重要」と話し、日本人のタンパク質摂取量は朝少なく夜多くなりがちですが、一定量をキープするような食事にすることを勧めました。目安としては1.0g/kg/日以上が必要で、ただし書きとして、タンパク質を増やすと影響が出る疾患・病態については別途考慮が必要であると説明しました。

要で「明日には食べられるようになるだろう」という希望的観測が一番危険」と訴えました。褥瘡の予防・治療のために必要なタンパク質量として、真壁理事は「タンパク質は常に合成と分解をくり返しており、血管内にタンパク質がある程度あることが重要」と話し、日本人のタンパク質摂取量は朝少なく夜多くなりがちですが、一定量をキープするような食事にすることを勧めました。目安としては1.0g/kg/日以上が必要で、ただし書きとして、タンパク質を増やすと影響が出る疾患・病態については別途考慮が必要であると説明しました。

スキナー後半ではスキナーケアについて紹介し「介護の現場では、高齢者の皮膚の状態が悪いために介助の際についた紫斑や痛みで、虐待を疑われることもある」と実際に紫斑になった事例を紹介し、皮膚の健康を保つ重要性を説きました。スキナーケアの予防として、病室ではよく乾燥肌を防ぐ塗り薬が使用されますが、ドライスキンの患者にガイドラインに沿った食事を出すことで、栄養面からも改善できることを紹介。体の外面と内面の両方からのケアと、また適度に体を動かすこともドライスキンには効果的であることを説明しました。終盤に、この日のセミナーのまとめを画像

栄養経営実践オンラインセミナー 病棟配置に向けた部門運営と教育体制構築のポイント

今後、管理栄養士は病棟で専門性を発揮し成果を出すことが求められ、そのための部門づくりが必要になります。今回は長崎リハビリテーション病院でいち早く管理栄養士の病棟常駐を実践してこられた西岡心大理事を講師にお招きし、効果的な病棟配置を実現させるための部門運営と教育体制づくりのポイントを解説いただきます。

開催要項

日時：2023年10月19日(木) 19:00~20:00(予定)

方式：オンライン ※zoomにて開催

参加費：会員:2,000円/その他一般:3,000円 ※税込

主催：一般社団法人日本栄養経営実践協会

講師

西岡心大
一般社団法人是真会
長崎リハビリテーション病院
教育研修部副部長・栄養管理室 室長
日本栄養経営実践協会理事

プログラム

- ▼病棟配置を可能にする病棟運営とは
- ▼教育体制の構築がカギ
- ▼給食部門の位置づけを考える
- ▼質疑応答

お申込みはこちらから

★新会員サービス「オンラインサロン」 大好評開催中!

権限移譲は丸投げではない、上司が出るべきタイミングを心得えよう

本協会の栄養経営士・栄養経営サポーターのみが無料で参加できる「オンラインサロン」。第26回は6月26日(月)18:30より行われました。協会からは宮澤靖代表理事、真壁昇理事、山下茂子理事、田中智美理事が出席し、参加者からの質問に対しみんなで見解を出し合いました。

この日、4問目の質問として挙げたのは「部下への仕事の委譲について」で、「上司が部下である自分に新システムについて、医局会や師長会での説明などを任せてくる。自分としては主任に担当して欲しいのだが…みなさんのところではどうですか」というものでした。

最初に回答した田中理事は「主任には何か考えがあるのかもしれないが…」と断りを入れつつ「現場の業務権限はある程度部下に下ろしているが、大きなプロジェクトで部署としての方向性を話す必要がある場合は、自分が出て行って話す」と説明。それは「栄養部としての仕事の責任は自分にあり、外部に向けて『部下に任せた仕事の責任は自分が取る』というメッセージでもある」とし、責任者としての自身の考えを語りました。

山下理事は「何かあったときに責任を取るの自分だから、医局会や管理会には栄養部門のトップである自分が出ていた。ただし、会議の前に部下には『こういう会議があって、こういう話をしよう」と

思う』と伝えていた。上司がグラついて困るのは部下。トップに選任されたからには、自分の考えをスタッフに話さないとダメ」と責任者の考えを部門内で共有する重要性を説きました。また「次に任せる人がいれば一緒に参加してもらい、自分が参加する姿を見せた」と話し、部下に仕事を委譲する方法も伝えました。

宮澤代表理事は「上司は細かいオペレーションがわからないから説明させたのかもしれないが、一緒に出なければダメ。権限移譲=丸投げではない。結果責任を負うためには、上司も一緒にいない」と他の理事たちと同意見であることを伝えました。また「そういう席に部署のトップがいかなないと、他部署から『ちょっとね』と思われても仕方ない」と院内における部署の立ち位置としての問題点も指摘しました。そして「キャリアが長いから上司になるのではなく、能力があるから辞令をもらう、もらう方はその覚悟を持つ。それが必要」と上に立つ者の心構えについて語り、次回からは同席してもらえるように主任にお願いしてみても、と質問者に伝えました。

部下や後輩へどのように権限移譲するかは難しい問題だと思いますが、うまくいかなかった場合、一番不利益を被るのは患者さんです。それだけはどうか忘れないで欲しいと思います。

「オンラインサロン」は今後も月に1回のペース

で実施する予定です。全国の栄養経営士や理事の先生方と直接交流できる、会員ならではの貴重な機会ですので、ぜひ奮ってご参加ください。

▼6月26日(月)の話題

- ・病棟常駐について、平成6年度の診療報酬改定ではどうなる? 備えておくべきことは?
- ・入院時食事療養費の値上げはある?
- ・部下の教育で悩んでいます。自立自動できる管理栄養士を育てるにはどうすればいい?
- ・部下への仕事の委譲、みんなはどうしてる?
- ・選択食を導入したいけど嚥下食の患者が多く難しくして…どうやって導入してる?
- ・選択食でITを導入された施設の方、上にどうプレゼンした?
- ・宮澤先生の睡眠時間はどのくらい?

■栄養経営士 オンラインサロン

- ◇開催日時: 8月28日(月) 18:30~20:00
- ◇参加対象: 栄養経営士・栄養経営サポーター
- ◇参加費: 無料
- ◇開催形式: オンライン配信 (Zoom)

※お互いの顔を見ながら会話をするので、カメラ・マイク機能を使えるパソコン・タブレット等をご用意ください。
※後日、アーカイブ配信もあります。
※個別の症例の相談にはお答えできません。



2023年度「栄養経営士」資格認定基礎講習(会場/web)

病棟常駐に向け業務・人材のマネジメント能力を身につけるのは今!

病院や介護施設において栄養部門は今どのような状況に置かれているのか、そして患者・利用者の治療成績向上と施設経営の両方に貢献していくためには管理栄養士は何を考えてどう動けばいいのか。「経営・マネジメント」の視点からこれらを読み解き、これからの管理栄養士のあるべき姿である「栄養経営士」について理解していただくのが「基礎講習」です。所属や資格に関係なく、病院・施設での栄養管理についてご興味のある方ならどなたでも受講いただけます。奮ってご参加ください。

★会員は特別価格で受講できます。復習・再確認にぜひご利用ください!



講師: 宮澤 靖
一般社団法人日本栄養経営実践協会 代表理事
東京医科大学病院栄養管理科 科長

〈講義内容〉

0. 「栄養経営士」に必要な能力について
1. なぜ、今栄養部門が重要になっているのか
2. 自分が勤める栄養部門の現状分析
3. 具体的な目標設定と達成に向けた実践的アプローチ
4. 部門の業務の質を高めるためのアウトカム指標とは
5. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
6. 病態把握能力と臨床栄養教育

〈参加者のレポートより〉

「職場内で実践できるものがあると感じた。今後は他職種に栄養科を頼ってもらえるよう、病棟に行って行動していきたい」(病院勤務)
「給食管理方法を改革・改善した価値に、講義を聞いて改めて気づいた。今後は利用者様を診て判断し介入できる、自立・自動の管理栄養士を目指したい」(高齢者施設勤務)
「業務に妥協せず、講義で習った変革のステップをもとに勇気を出して業務変革を実践していきたい」(有床診療所勤務)
「今回勉強したことを持ち帰り、問題の提起と解決に向けて栄養科全員で取り組みたい」(特養勤務)

〈開催スケジュール〉

会場	日程	申込締切
東京	終了しました	終了しました
札幌	終了しました	終了しました
仙台	11月18日(土)	11月2日(木)

時間: 10時~17時(予定) 受講料: 【一般】8,500円 【会員】3,850円

★基礎講習は勤務年数・資格に関係なく、どなたでも受講いただけます!
★全会場でweb受講を受け付けています

基礎講習のお申込み・
詳細はこちらから➡



〈お問い合わせ〉

一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL:03-3553-2903

栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

協会事務局より

2023年8月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年8月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を郵送しております。振込期限は過ぎておりますが、事務局ではまだ手続きを受け付けております。対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 年度会費：有効期限が2022年8月20日～2023年8月19日の方
【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：会員資格が2020年8月20日～2023年8月19日の方
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL:03-3553-2903

WEBセミナー情報

栄養管理と給食経営の実践と課題セミナー スタッフの負担軽減を目指そう! 効率厨房へ工夫の一手

完調品を使用した低価格で軽度者から重度者にも対応する食事システムのノウハウと、おいしさ・品質の良さを公開。また人員不足、食材費高騰、光熱費高騰に対応するために必要なマネジメントとは何かを解説、本協会の宮澤靖代表理事が登壇します。

- 日 程：2023年9月10日(日)13:00～16:00
- 講 師：宮澤靖氏(東京医科大学病院 栄養管理科科长、日本栄養経営実践協会 代表理事)ほか
- 参加費：無料
- 会 場：ホシザキ北九株式会社 本社ショールーム
(福岡市博多区博多駅南3-18-9)
※ライブ配信あり
- 定 員：現地30名 ※先着順
- 主催・お問い合わせ：日本医療医療企画セミナー
事務局(担当:藤本)
TEL:03-3553-2885



なぜうまくいかないのか?スムーズな連携の秘訣を伝授! 介護事業者の視点から考察する”医療・介護連携”

2024年度は医療・介護・福祉のトリプル改定となり、地域包括ケアシステムの進展へ向け、これまで以上に医療・介護の連携がポイントとなると予想されます。しかし、そこには課題が多く、その課題解決には医療・介護福祉に携わる経営士が重要な役割を担う必要があります。

本セミナーではこれからの医療・介護連携のあり方について、亀梨和也主演で話題を呼んだWOWOWのドラマ「正体」で介護監修を務め、FMおだわらでラジオパーソナリティとしても活躍中の特別養護老人ホーム潤生園施設長・井口健一郎氏に、介護事業者の立場から解説していただきます。

三経営士コラボ企画展開中!

医療経営士、介護福祉経営士、栄養経営士の三経営士が学び、情報交換し、互いに切磋琢磨できる企画を今後も開催していきます。ぜひ奮ってご参加ください!

2023年
8月25日(金) 15:00～16:00

◎開催方法
Zoom (ウェビナー)

◎対象
医療経営士、栄養経営士
医療機関経営者、事務部門責任者、
事務部門スタッフ、栄養部門スタッフ

◎受講料
医療経営士・介護福祉経営士・栄養経営士：2,000円
一般：3,000円

◎定員
100名 ※先着順

主催：一般社団法人日本医療経営実践協会
協力：一般社団法人日本栄養経営実践協会

〈お問い合わせ〉
株式会社日本医療企画
TEL: 03-3553-2863

▶お申込みは
こちらから



講師



いぐち けんいちろう
井口 健一郎氏

社会福祉法人小田原福祉会理事/
特別養護老人ホーム潤生園施設長
介護福祉経営士2級

2023年「栄養経営士」資格認定試験はIBT方式で開催中です!

「栄養経営士」 資格認定試験

- 試験日:毎日受験可能
- 受験料:9,500円(消費税・システム利用料込み)
- 実施方法:IBT(Internet-Based Testing)方式
※インターネットを経由しスマートフォン、タブレット端末、パソコンを使用して受験
- 受験エントリー期間:通年
- 受験資格:管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は
WEB・DVDによる受講も可能です!

DVD受講は3枚組、特典映像
「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは

🔍 栄養経営士

検索



一般社団法人 日本栄養経営実践協会
The Japan Association for Nutritional Management Practice

〒101-0042 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-Gate八丁堀9F
TEL:03-3553-2903 FAX:03-3553-2904